

令和4年8月26日

関係各位

当園利用者の新型コロナウイルス感染状況について

社会福祉法人 東京緑新会
多摩療護園 園長 岩谷健治

日ごろから障害者支援施設多摩療護園、地域生活相談室おあしすの運営にご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。さて、多摩療護園に入所されている利用者1名が新型コロナウイルス感染症陽性と判定されました。感染状況についてご報告いたします。

① 感染状況

○利用者 A さん

- ・7月22日 胃カメラ検査のため受診（感染経路として濃厚）。
- ・7月25日 朝に37.8度、夜に39.1度の発熱。カロナールを服用し、クーリングで対応。
- ・7月26日 受診し、PCR検査の結果、陽性が判明。病院、施設、家族の確認により入院となった。

② 対応状況

- ・南多摩保健所と相談し、利用者 A さんと同じテーブルで食事をとっていた利用者3名は5日間の個室対応としました。
- ・利用者の密集を避けるために、仕事、運動、レク等の日中活動は中止としました。
- ・職員は不織布マスクの着用・手荒い・週2回の抗原検査等感染症対策を取っていましたが、合わせて出勤毎の抗原検査を実施することとしました。
- ・面会は8月31日まで中止とさせていただきます。
- ・短期入所事業を現在利用中の皆様におかれましては、継続利用の意向を伺い対応します。
- ・通所生活介護事業においては、園内フロアの分離を徹底しているため継続します。ただし、入所部門で複数名の陽性者が発生した場合は、職員の応援が必要となるため縮小して対応してまいります。

今回の感染経路は外部だと思われませんが、園内での利用者の発症は初めてとなるため、より一層健康状態の変化に最大限の注意を払いつつ、支援を継続してまいります。ご家族はじめ関係の皆様には多大なるご心配をおかけすることになりますが、新型コロナウイルス感染症の感染状況については都度報告してまいります。引き続きよろしくお願い申し上げます。

